

普及活動情勢報告（平成30年10月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

土佐文旦栽培基礎講座を開催

・・・第2回若者講座・・・



9月18日に宿毛市で栽培基礎技術講習会を開催し、宿毛市と大月町で土佐文旦を栽培する若い後継者16名が参加しました。

これまでのアンケートで最も要望の多かった「土づくり」を中心に講習を行いました。

参加者から、「3要素だけでなく苦土や微量元素の役割と土づくりの重要性が深く理解できた」との意見が出され、休眠期の堆肥施用や適正な苦土の施用方法について参加者同士でも意見を交換していました。

農業改良普及課は、今後も若い後継者の栽培技術のレベルアップと互いの連携強化を支援していきます。

遊休地を果樹園に変えよう

・・・爪白地区果樹栽培勉強会の開催・・・



9月27日に土佐清水市爪白区長場で、地域の生産者が持続可能な集落活動を目的に取り組む「大地の恵み」設立総会が開催され、10名が参加しました。

農業改良普及課は、休耕地で栽培可能な品目について果樹を中心に情報提供して欲しいとの要望を受け、対象地域に適する品目の提案と基礎管理について説明しました。

参加者からは、「比較的労力をかけずに栽培する方法はあるか」など質問が出されました。

ほ場が足摺海洋館に近いという地域性から、果樹の観光農園を希望する意見が出され、次回は観光農園に適した品目の提案と栽培講習会を実施する予定です。

病虫害・農薬の基礎知識習得

・・・第3回農業基礎講座&はちきん農業大学地域講座・・・



9月26日、中村合同庁舎で新規就農に向けた研修生や女性農業者を対象に講座を開催し、10名が参加しました。

3回目の今回は、病虫害の基礎知識、農薬の安全使用、鳥獣害対策について説明し、参加者からは、病虫害の対策や薬剤の効果的な使用方法などについて、多くの質問が出されました。

農業改良普及課は、今後も継続して講座を開催し、知識や技術の習得を支援します。

幡多でも始まる、農福連携

・・・農福連携セミナーin幡多・・・



10月16日に四万十市立中央公民館で、農業と福祉が連携して障害者らの就農支援を支える「農福連携セミナーin幡多」が、県障害保健支援課の主催で開催されました。

当日は幡多地域の福祉事業所や農家、JA高知はたや市町村職員らを含む103名が参加しました。

セミナーでは、先進地である安芸市協議会の就労支援や安芸市農家の事例紹介、高知県立精神福祉センター山崎所長による基調講演があり、「個人により障害に違いがあること、そして、それを周りが理解し支えつなぐことの大切さ」について助言がありました。

農業改良普及課では、幡多地域における労働力補完システムの一環として「農福連携」を位置付けており、まずは、12月から本格化するキュウリの「ツル降ろし作業」に特化した支援を行うことで、その推進を模索したいと考えています。

新規就農者の確保に向けて

・・・幡多地区新規就農者支援ネットワーク協議会・・・



10月10日、幡多地域の市町村やJAなど農業関係機関が集まり、新規就農者支援ネットワーク協議会を開催しました。

平成31年2月に実施予定の農業体験ツアーの内容について協議し、幡多地域の研修施設や農家を案内する案を決定しました。

また、管内の農業次世代人材投資事業（経営開始型）の中間評価の試行状況について情報交換し、農地・担い手対策課から県内の産地提案書について情報提供を行いました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、新規就農者の確保に向けた活動を進めていきます。

進めよう集落営農！

・・・黒潮町集落営農研究会の開催・・・



9月18日、黒潮町小川集落のほ場と黒潮町保健福祉センターにおいて黒潮町集落営農研究会が開催されました。

小川集落ほ場では農業用ドローンの薬剤散布実演が行われ、49人の農業者が参加し、ドローンの有効性について熱心な質疑が行われました。

また、保健福祉センターでの視察研修報告には集落営農組織や集落代表者22人が参加し、先進地の状況や今後の黒潮町での取り組みについて協議を進め、農業改良普及課からは、管内他地区の事例の紹介を行いました。

農業改良普及課では、今後も黒潮町における集落営農の推進に向けて支援を行っていきます。



最後まであきらめずに出荷を ・ ・ ・ 西土佐地区米ナス現地検討会 ・ ・ ・



10月5日、四万十市西土佐地区のJA高知はた西土佐支所米ナス部会の現地検討会が行われ、農家9人が参加しました。参加者のほ場を中心に6ヶ所を巡回し、栽培方法や病虫害防除について情報交換を行いました。10月までは台風や日照不足の影響で、出荷量が少ない傾向でした。

現地検討会の後の情報交換会では、今年の天候状況や、環境保全型農業直接支払交付金についての説明を行いました。西土佐では天敵の温存ハウスの共同管理を行っており、交付金を受ける条件が整いやすいことが理解されました。

農業改良普及課は今後、関係者と連携し、雨よけ栽培への移行を含めた米ナス栽培の推進を行います。

土佐清水市で果樹を振興 ・ ・ ・ 下川口地区で何を栽培しよう？ ・ ・ ・



10月11日に土佐清水市下川口地区で、土佐清水市主催の地区集会が開催され、地域の農家6名が参加しました。

農業改良普及課は、土佐清水市の気候や立地条件など地域性を生かした品目として柑橘類を紹介し、各品目の特性と基礎的な管理方法を説明しました。

今後は、関係機関や地域の皆様と協議しながら、地域の皆様がよりよい品目を選択し、速やかに栽培できるよう支援していきます。

新しい土壌病害対策 ・ ・ ・ JA高知はた中村ショウガ部会反省会 ・ ・ ・



10月12日、JA高知はた中村支所ショウガ部会では生産者16名が集まり、反省会が開催されました。

農業改良普及課からは、ショウガ栽培で問題になっている青枯病・根茎腐敗病に対する新しい土壌消毒法：低濃度エタノール土壌還元処理について説明し、最近の試験結果・効果や作業時間について報告しました。質疑では、コストや詳しい原理などについて質問が挙がりました。

農業改良普及課では、これからもショウガの増収・安定栽培に向けて支援していきます。